



日立グループは、IT、OT（制御・運用技術）、プロダクトを活用した社会イノベーション事業を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。

日立システムズグループは、デジタルセントリックな企業グループの一員として、社会イノベーション事業の推進エンジンとなるDXサービスとマネージドサービスをお客さまに提供しています。お客さまに伴走しながら、社会課題を解決することで、「真に豊かな社会の実現に貢献」します。

### ハーモナイズドソサエティの実現に向けて社会インフラをAIで革新



社会インフラを支えるシステム・プロダクト群

## 人の持つ無限の可能性と人間性を尊重し、真に豊かな社会の実現に貢献する

AIの台頭などテクノロジーの進展や環境負荷の増大、労働人口の減少など、社会環境はダイナミックに変化しています。

日立グループは、そうした事業環境の変化を捉え、強みであるミッションクリティカルなIT・OTインテグレーションと先進的なAI技術を掛け合わせるにより、デジタルセントリックな企業として社会課題の解決に取り組みます。

日立システムズグループは、日立グループの社会イノベーション事業を支える一員として、サステナビリティ経営を推進し、システム開発から運用・保守・工事までをワンストップで提供しています。お客さまの現場で培ったドメインナレッジとIT・OTを掛け合わせ、フロントラインワーカーの業務改革を伴走型で実現するDXサービスやお客さまの安心安全なデジタル環境を実現するマネージドサービスを通じて、お客さまの企業価値向上に貢献します。さまざまなお客さまの経営をITで支える企業として、従業員一人ひとりが高い倫理観と責任感を持って正しく行動し、成長し続けることが不可欠です。

そのため、日立グループ企業倫理・行動規範のもと、事業活動を展開しています。また、「安全と健康はすべてに優先する」を基本的な行動指針として、お客さまや社会から信頼される企業グループであり続けるため、人財戦略「SMILE∞2.0」を掲げ、個人・会社双方の成長をめざしています。変化し続ける世界において、人の持つ無限の可能性と人間性を尊重し、企業理念に掲げる真に豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株式会社日立システムズ  
代表取締役 取締役社長

渡邊 岳彦

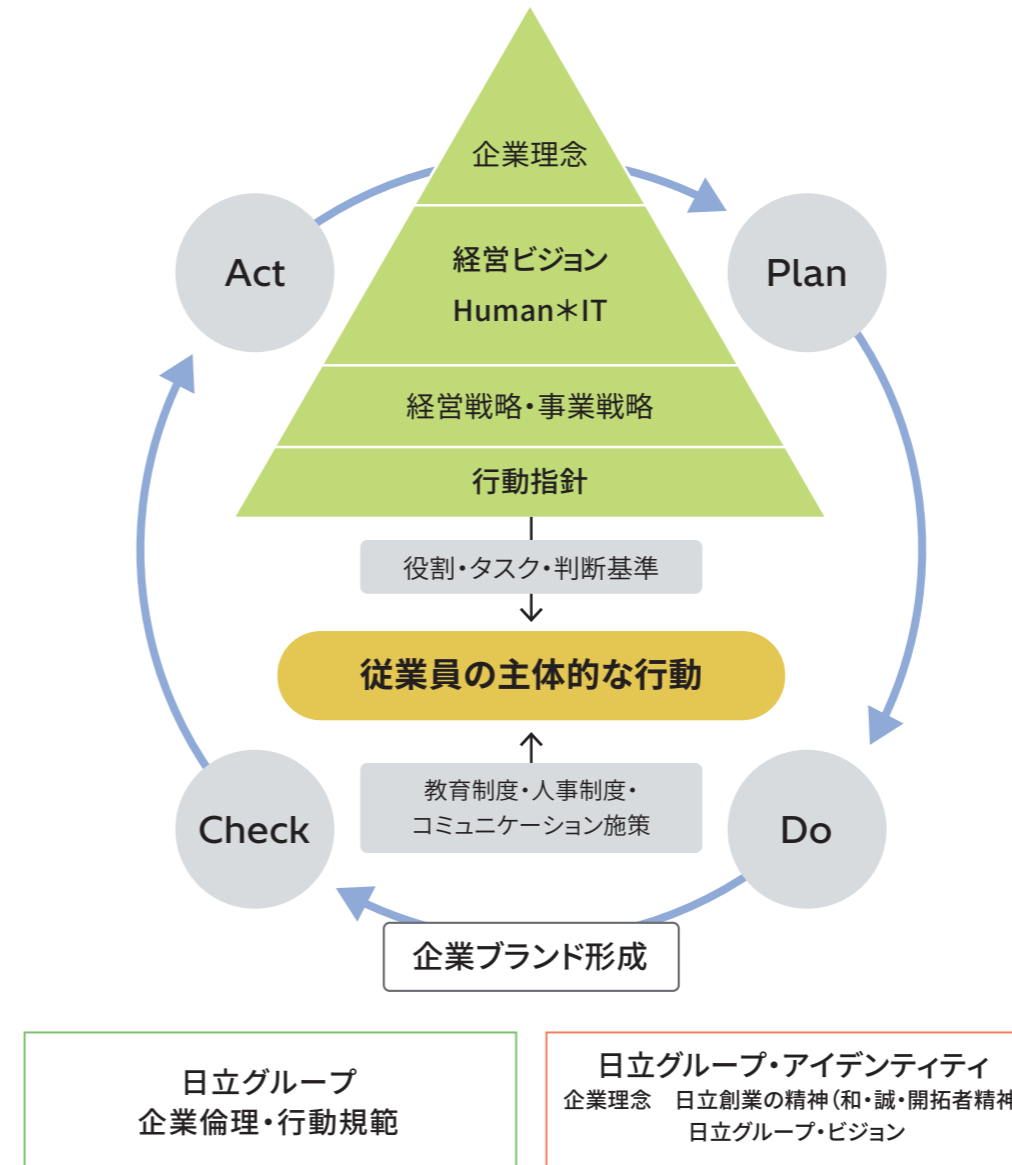


# Human\*IT ひとりを想うチカラが、 世界を変えるチカラになる。

お客さまやパートナーの  
いちばん近くで、ともに考える。  
日立システムズは、ひとに寄り添い、  
常に先端のデジタル技術をつなぎ、  
だれもが安心して暮らせる居場所を  
生み出していきます。  
そうして積み上げた経験が、  
サービスが、想いが、やがて  
世界を変えるチカラになると信じて。



## 従業員基点の経営の仕組み 日立システムズWay



日立システムズは、従業員基点の経営の仕組み  
「日立システムズWay」に沿って一人ひとりが主体的に行動し、  
実績と信頼を積み重ねることで、  
お客さまから選んでいただける存在になることをめざします。  
そして、真に豊かな社会の実現に貢献するため、  
グループ一体となって取り組んでいきます。

### 企業理念

業界の先駆的企業としての経験と誇りを以って、  
情報技術・製品・サービスの開発と提供を通じ、真に豊かな社会の実現に貢献する。  
また、人の持つ無限の可能性と人間性を尊重し、お客さまに一番近い存在として、  
満足と感動をもたらす新たな価値を創造する。

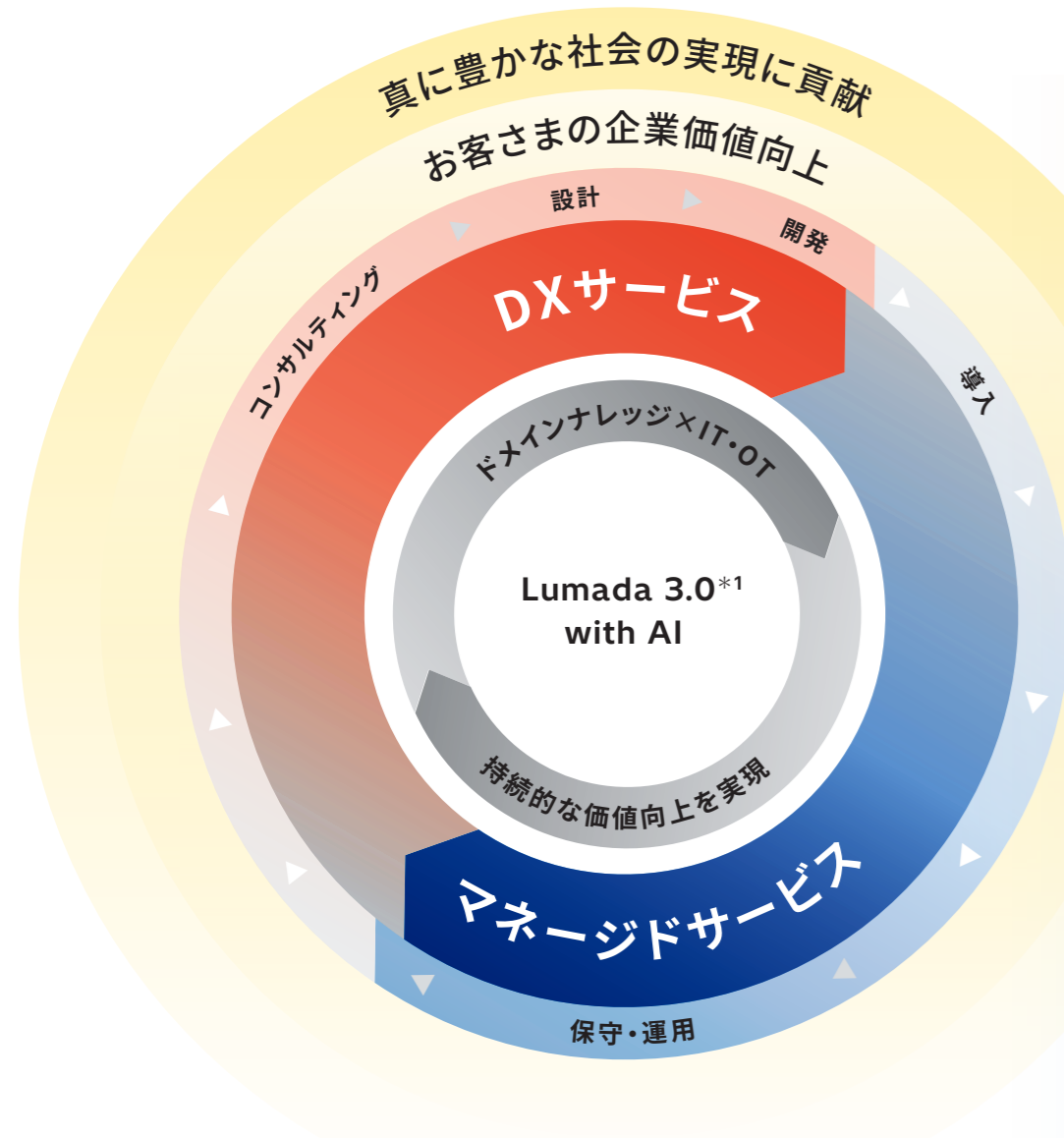
### 経営ビジョン

世界につながる人財と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスを創造し、  
お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーになる。

### 行動指針

- 社会貢献 優れたサービスで社会の発展に貢献します。
- 人間性尊重 人の持つ可能性を信じ、多様な価値観を尊重します。
- お客さま視点 真のパートナーとしてお客さまの視点で考え行動します。
- チャレンジ 新たな価値を創造するために挑戦を続けます。
- グローバル 世界に通じる仕事をします。
- ユニーク 異なる価値を結合して、ユニークなサービスを生み出します。
- スピーディー あらゆる変化にスピーディーに対応し、お客さまをリードします。

お客様のデジタル変革を実現するDX サービスと、安心・安全なデジタル環境を支えるマネージドサービスを伴走型で提供します



「デジタル変革によるお客様の企業価値向上」  
そのゴールに向け、業界のドメインナレッジと  
専門知識を持つ人財がお客様に伴走し、  
ともに企業のデジタル変革を推進します。

デジタル変革の両輪となるお客様の業務改革を実現する  
DXサービスと安心・安全なデジタル環境を支えるマネージドサービス。

それらサービスを、コンサルティングから運用・保守まで一貫して  
提供し、お客様の持続的な企業価値向上とともに実現します。

\*1 Lumada3.0: 日立のドメインナレッジで強化したAIを活用することにより、Lumadaを進化させたもの。  
Lumadaとは、お客様のデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、  
日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称。

## DXサービス

業種別／業種共通のDXサービスで  
フロントラインワーカーの業務改革を実現



公共・社会



金融



産業・流通



## マネージドサービス

お客様が安心・安全にDXサービスを活用できるよう  
安定的なデジタル環境を実現



セキュリティ



クラウド運用



データセンター



ネットワーク



コンタクトセンター



BPO



# DXサービス 業種別／業種共通のDXサービスでフロントラインワーカーの業務改革を実現

## 業種別DXサービス

さまざまな業種のお客さまとの協創を通じて培ったドメインナレッジとIT・OTの技術を掛け合わせたDXサービスで、専門性が高い業種特有の課題も解決し、企業価値向上に寄与します。

### 公共・社会

住民・職員・社会インフラを支え、  
すべての人が暮らしやすい社会を

#社会インフラ保守 #フィールド作業支援  
#日立 自治体ソリューション ADWORLD #デジタル窓口

代表するサービス

**CYDEEN** (社会インフラ保守 powered by Lumada)

道路、鉄道、上下水道、電力施設など生活に不可欠な社会インフラ設備をAIやIoT機器、画像解析技術を活用して分析。施設や設備の損傷状況、健全度を予測して点検・補修計画の立案を支援。



### 金融

金融機関を支える厳格な運用体制  
金融庁のガイドラインにも対応

#銀行 #保険業界 #証券業界  
#為替BPO #渉外支援

代表するサービス

**Finnova** (金融業向けソリューション)

銀行、保険、証券、ノンバンクなどの金融機関の業務をまるごとデジタル化し効率化と顧客満足度を同時に向上させる総合ソリューションです。情報管理、分析、業務効率化などお客さまの多様なニーズに対応。



### 産業・流通

スマートファクトリーやサプライチェーン  
マネジメントの実現に向けた取り組みを加速

#生産管理 #在庫管理 #ERP  
#ライフサイクルマネジメント

代表するサービス

**FutureStage** (製造・流通業向け基幹業務ソリューション)

中堅・中小の製造業・卸売業で4,500社以上の導入実績を持つ、生産・販売管理ソリューション。クラウド版はローコード・ノーコード開発にも対応し、パッケージの標準機能を生かしつつ、独自環境にも柔軟に対応。



## 業種共通DXサービス

さまざまな業種に伴走する中で標準化したDXサービスで、どの業種にも共通する課題を解決し、フロントラインワーカーの業務効率化・生産性向上に寄与します。

### デジタルライフサイエンス

医薬プラットフォームの専門性と  
AIを掛け合わせ協業を推進  
地域の健康増進と企業の健康経営を支える

#医薬プラットフォーム #生成AIヘルスケア  
#ウェルビーイング #地域健康施策 #企業健康経営

代表するサービス

**健康データ分析向けアシスタントAI**

健康データの分析から課題の可視化、施策立案までを支援し、未病予防や生産性向上に貢献。さらに、AIエージェントが適切なリコmendを行い、個人に寄り添う新たなヘルスケアを提供。



### 共通業務支援

業務効率化を実現し  
企業の生産性向上につなげる

#給与明細発行 #交通費支払い代行 #IT資産管理  
#キックティング

代表するサービス

**Traveler's WAN** (旅費精算・経費精算パッケージ)

法律や社内規定などさまざまなルールを考慮して、旅費／経費の精算業務をお客さまに合わせて効率化。キャッシュレス化とペーパーレス化で業務支援。



# マネージドサービス 安心・安全にDXサービスを活用できるよう安定的な デジタル環境を実現

日立システムズは、セキュリティ、クラウド・ネットワーク&データセンター、コンタクトセンター&業務運用(BPO)を〈Hitachi Systems Managed Services〉として体系化し、展開しています。お客様の円滑な企業活動を支援し、持続的な企業価値向上を実現するためのシステム運用をサポートします。

## 【セキュリティ】 Hitachi Cyber\*<sup>1</sup> / SHIELD

NIST CSF\*<sup>2</sup>に基づき、セキュリティサービスをお客さまの業務視点で体系化。お客さまごとに適切なセキュリティ環境を構築し、平時と有事どちらも安心できる体制を実現。

- # 1996年日本初のSOC\*<sup>3</sup>を開設
- # グローバルで800社以上にSOCを提供
- # 公的機関のテクニカルアドバイザー人財

\*1: 日立システムズグループがグローバル(北米、欧州、アジアなど)で提供するセキュリティサービスの総称  
\*2: 米国立標準研究所(NIST)より公開されたサイバーセキュリティフレームワーク  
\*3: Security Operation Center



## 【マルチクラウドソリューション】 Gateway for Business Cloud

オンプレミスとクラウドを組み合わせたマルチクラウドでお客さまの目的に合った適切なシステム環境を構築。監視・運用サービスで安定稼働を実現。

- # 1,200社以上にクラウドサービスを提供
- # 業界ガイドラインに対応した環境構築
- # Japan AWS Ambassadorsに選出された人財



## コンタクトセンター

窓口業務のデジタル化を推進しているお客さまに対し、業務を理解したプロフェッショナル人財とAIを組み合わせ、問い合わせ対応業務の効率化・利便性向上を実現。

- # 24時間365日対応
- # 国内複数拠点でのBCP対策
- # セキュリティ規格ISO/IEC27001取得



## BPO

お客さまの情報システム部門にBPOサービスを提供。日立グループの情報システム部門のBPO対応をする中で培った日立グループ基準のサービスクオリティをお客さまに提供し、生産性向上を実現。

- # 情報システム部門業務全体をカバー
- # 運用業務を標準化しメニュー化
- # IT人材不足への対応



# AX (AIトランスフォーメーション)

日立システムズは、公共・社会、金融、産業・流通の各分野で培ったドメインナレッジに基づき、お客様の課題解決を支援します。単なるAI導入にとどまらず真のDXをめざして、「人が業務をこなす時代から、人とAIが協働する時代への変革」を推進します。

## ■AI導入に先立つ課題の整理からAI基盤の構築、運用と定着まで、お客様のAI導入をサポート

- 1 課題の可視化・適用領域の特定
- 2 業務AIとAI基盤の構築
- 3 安全性とガバナンスの確立



## ■日立AIアンバサダー

AIトランスフォーメーションをけん引する日立グループのエキスパートがAIアンバサダーです。1,000件以上のユースケースから得た実践的な技術とナレッジを基盤に、社内外へ生成AIの価値と可能性を発信しています。



菊池 一也

仮想化事業・クラウド事業の立ち上げに貢献し、2023年から若手社員を中心とした製販一体の生成AI関連プロジェクトを推進してきた。現在はサービス開発や事業展開を指揮している。



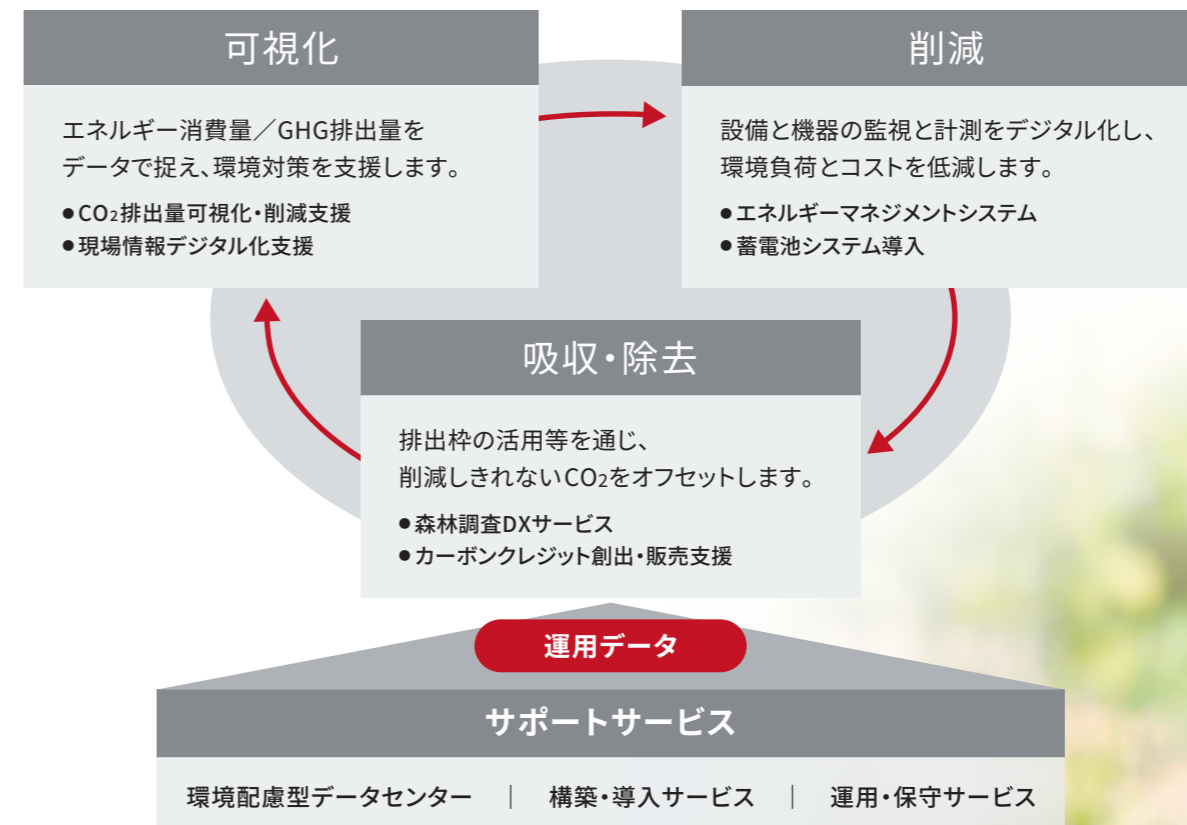
架谷 愛

Azureを活用したクラウドインフラ基盤の構築を経験後、2023年より生成AI事業に参画し、技術検証を実施。現在は「製造業向けアシスタントAI」のアプリケーション開発リーダーとしてプロジェクトを推進。

# GX (グリーントランスフォーメーション)

日立グループの環境ビジョンのもと、お客さまに寄り添いながらグリーントランスフォーメーション(GX)に取り組んでいます。サポートサービスで得られるデータやノウハウも活用し、GHG排出量の可視化・削減に加え、吸収・除去を支援するサービスを通じて、お客さまの脱炭素の取り組みを後押しします。

## ■GXを進めるスリーステップ



お客様のDXを推進する日立システムズのケイパビリティ



## データセンター

大規模な建屋型データセンターと、お客さまのニーズに合わせてコンパクトに構築可能なコンテナ型データセンター。One Hitachiでサービスを提供し、新規構築や既存データセンターの課題解決において、計画・設計・構築・運用のライフサイクル全般を支援します。

### ■建屋型データセンター

堅ろうな設備によりお客さまのITシステムの安定稼働を実現するとともに、24時間365日の有人監視による強固なセキュリティ体制を確立しています。東日本・西日本それぞれにあるデータセンターで、アウトソーシングサービスを提供し、液冷にも対応した柔軟な運用環境を実現します。



### ■コンテナ型データセンター

必要装備を一台のコンテナに集約し、短期間かつ低コストで構築。増設や移設も容易。サーバーの性能をフルに引き出すための電源／冷却設備などのIT環境設計も自社で行い、データセンターの企画から保守・運用までワンストップで対応することで、安定稼働を実現します。



## ファシリティサービス

オフィスやデータセンターなどのIT機器関連インフラの提案、構築・設計、施工、運用・維持管理を中心にファシリティサービス事業を展開。建設業法に基づく体制のもと、一級施工管理技士や一級建築士などの専門資格者を有し、重機を用いた工事やサーバールームを含むITインフラ設備など幅広く対応します。

### ■日立システムズのファシリティサービスのフィールド



工事の種類 電気／空調／LAN設備 工事 ビルマネジメントシステム設備工事

### ■日立システムズのファシリティサービスの 特長

#### 人財

一級施工管理技士や一級建築士をはじめとした 多数の資格保有技術者

#### 動員力

建設業法対応資格保持者による全国規模の 体制

#### ナレッジ

電気・通信工事からEV充電器や太陽光パネル、蓄電池などのカーボンニュートラルのご提案とサービス提供

## 保守

全国約300拠点のサービス網と高い専門性を持つ人財により、ITをはじめ多様な分野で24時間365日体制の保守・運用サービスを提供。人財・動員力・フィールドサポートを強みに、問題の予兆検知から障害対応まで一貫して支援し、万一の際も迅速な復旧を実現します。

### ■日立システムズの保守フィールド

#### IT機器

サーバー／ストレージ ネットワーク  
ATM 金融営業店端末

#### OT機器

店舗 フィットネス機器、KIOSK端末 工場・物流倉庫 マテリアルハンドリング設備、AGV\*1  
ロボティクス 搬送ロボット ライフライン EV充電スタンド

\*1 自動搬送車 (Automated Guided Vehicle)

### ■日立システムズの保守の特長

#### 人財

グループ連結2,000名の技術者

#### 動員力

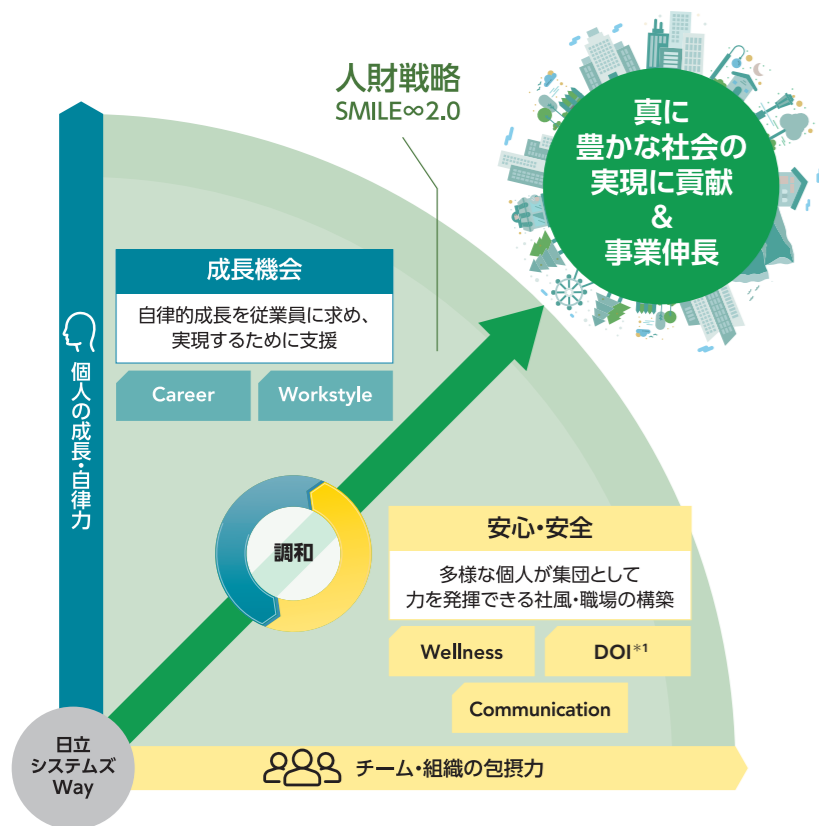
国内約300か所のサービス拠点

#### ナレッジ

年間約60万件の対応で蓄積した保守ナレッジとAI活用で、安定稼働と早期復旧を両立

# 成長する個人×チカラを引き出す組織によって新たな価値を創出

日立システムズは、「人間性の尊重」を企業理念にうたっています。持続的な成長を遂げていくためには、従業員がその力を最大限に発揮できる人財育成が重要であると考え、人財戦略「SMILE∞2.0」を掲げています。従業員の自律的成長を支援する「成長機会」と、心身の健康を保てる職場環境を示す「安心・安全」の2軸を柱に、両者を調和させて個人・会社双方の成長をめざしています。



\*1 Diversity, Opportunity and Inclusion

## Career キャリア自律の推進

個人の意欲やスキル、能力を最大限に発揮できる環境設備を通じて、自律的な成長とキャリア形成を実現

- ジョブ型人財マネジメント\*2を通じて「職務」と「人財」のマッチングによる適所適材の実現
  - 本人主導の異動推進による自律的キャリア形成支援の強化
  - 会社と従業員個人の成長を支える教育への積極的投資
- \*2 「職務」と「必要なスキル・経験」を明確化するとともに、その職務を担える人財を本人の意欲・能力に応じて登用



## Workstyle ワークスタイルの推進

最適なワークスタイルを通じ生産性向上と人財の活躍を推進

- 長時間労働・過重労働防止
- 最適なワークスタイルと自律的な働き方の整備
- 仕事と育児・介護・治療の両立支援
- 多様化するニーズに対応したライフサポート



# SMILE ∞ 2.0

SMILEとはSelf-Management (自主自律)、Individuality (個性を大切に)、Love myself (自分を愛して)、Enhancement (自己成長)の頭文字をとったものです。

## Wellness 従業員の安全と健康

従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働くことができる安心・安全な職場の実現

- アプリケーションを活用した心身の健康に関するセルフマネジメント
- がんをはじめとした各種疾病の予防対策
- 精神疾患低減施策や各種セミナー実施、女性の健康サポートなど、心身両面での健康支援施策を推進
- 労働災害・交通事故撲滅に向けた活動



## Communication 従業員とのコミュニケーション

人と人とのつながりを大切に、個人と組織が能力を最大限に発揮できる職場の実現

- 上司と部下との対話の機会創出による心理的安全性向上
- 従業員エンゲージメント向上施策
- 日立システムズグループの全従業員が一つのチームとして協力し、楽しむ全社運動イベント



## DOI ダイバーシティ・オポチュニティ・インクルージョンの推進

誰もが公平に多様な個性を発揮し、相互に成長し合い貢献できる職場の実現

- DOIを重視した職場づくりの推進と意識醸成
  - 多様な人財の活躍施策
  - インクルーシブリーダーシップ\*3の醸成
- \*3 対立する多様な意見を包摂し、統合された考えを生み出し、One Hitachiのチームワークが発揮されるように導くこと



# 人づくりって、未来づくり

日立システムズは、「STEAM教育プログラム」や「地域貢献活動」など、持続可能な社会の実現に貢献するさまざまな活動に取り組んでいます。

## 次世代のIT人財育成に注力

ITの楽しさと学ぶ意義を伝え、未来を担う子どもたちの可能性を広げる学びの場を創出します。

### STEAM教育プログラム 「未来をもっと輝かそう」

STEAM教育プログラム  
累計**16,766**名参加

詳細は右記の二次元バーコードから  
ご確認ください。  
※2026年1月1日現在の数値



未来を担う若い力を育むため、STEAM\*1教育プログラムを中心とした「人づくり」に取り組んでいます。\*1 Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics



プログラミング授業



AI授業



データサイエンス授業

## キャリア教育

中高生の職業意識の形成に寄与することを目的に、企業訪問プログラムを実施しています。



中高生企業訪問プログラム



## 地域を担う若いチカラを応援

東北の未来を担う若い世代が学び、挑戦し、地域とともに成長していける機会づくりを支援します。

### 地域とともに歩む場 「日立システムズホール仙台」

ITサービスやボランティアによる復旧・復興支援に加え、2013年に仙台市青年文化センターの命名権を取得。



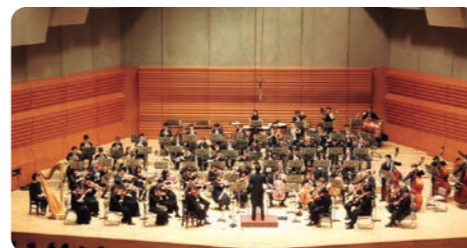
日立システムズホール仙台

## 「希望の響き」シリーズの開催

日立システムズホール仙台を活用した「希望の響き」シリーズを通じて若い世代の人財育成を基軸に、文化面からの復興支援に貢献しています。



仙台フィルハーモニー管弦楽団と地元高校生による共演



# 主要資格取得者 (単独) ※2026年1月1日現在

## 共通

- 技術士(補を含む).....41名
- ITコーディネーター.....27名
- ITストラテジスト.....37名
- システム監査技術者.....31名
- システムアーキテクト.....128名
- プロジェクトマネージャー.....155名
- ネットワークスペシャリスト.....426名
- 情報処理安全確保支援士・情報セキュリティスペシャリスト...615名
- ITサービスマネージャ.....92名
- データベーススペシャリスト.....152名
- エンベデッドシステムスペシャリスト.....10名
- 応用情報技術者.....1,860名
- 基本情報技術者.....5,038名
- Project Management Professional.....2,305名
- 公認情報システム監査人.....4名

## GX、ファシリティ

- 一級建築士.....6名
- 第一種電気工事士.....28名
- 1級電気工事施工管理技士.....101名
- 1級管工事施工管理技士.....38名
- 1級建築施工管理技士.....25名
- 第二種電気主任技術者.....6名
- 認定ファシリティマネージャ(CFM).....9名
- HPE社Certified Data Center認定.....21名
- エネルギー管理士.....5名
- 炭素会計アドバイザー資格 2級.....29名
- 炭素会計アドバイザー資格 3級.....237名
- 蓄電池設備整備資格者.....12名

# 認定・表彰

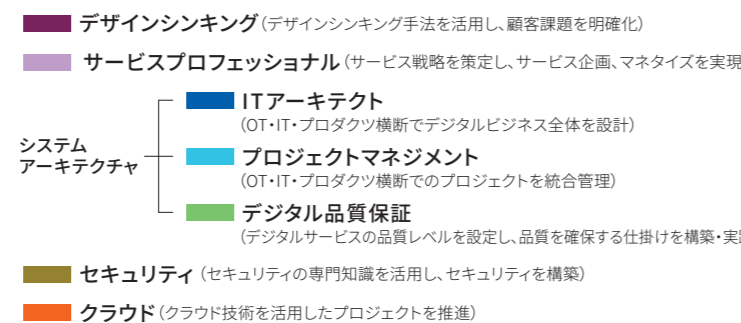
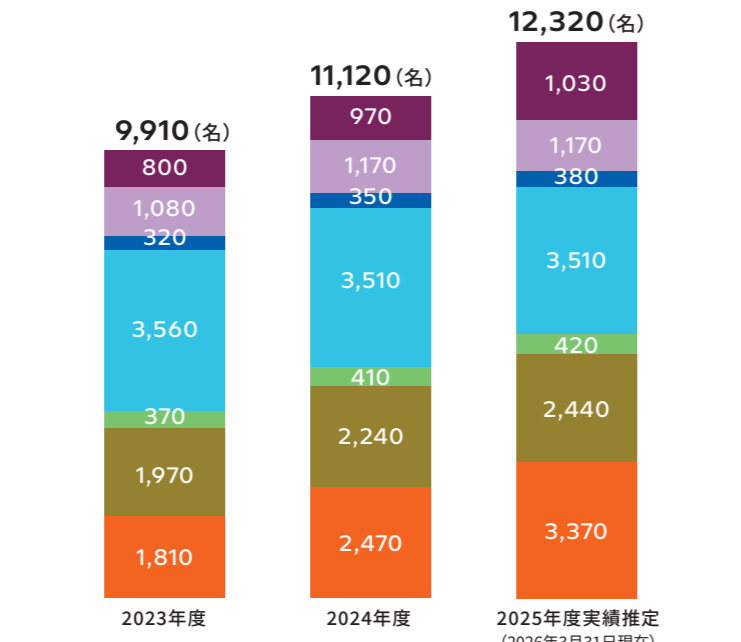


**DX認定**  
DX推進への貢献



**健康経営優良法人**  
優良な健康経営を实践

# デジタル人財の推移



※日立ITプロフェッショナル認定制度/ITSS/公的資格等にもとづいた各領域のスキルを持つ人材



**くるみん**  
子育てサポート企業



**えるぼし**  
女性活躍推進

# 会社概要

**商号** 株式会社日立システムズ  
**英語表記** Hitachi Systems, Ltd.  
**設立** 1962年10月1日  
**資本金** 19,162百万円  
**本社所在地** 東京都品川区大崎1-2-1  
**代表者** 代表取締役 取締役社長 渡邊 岳彦  
**事業内容** ●システム構築事業  
●システム運用・監視・保守事業  
●ネットワークサービス事業  
●情報関連機器・ソフトウェアの販売と開発

**従業員数** 10,520名(2025年4月1日現在 単独)、20,179名(2025年4月1日現在 連結)  
**売上高** 513,603百万円(2024年度、単独)、627,421百万円(2024年度、連結)  
**許認可等** ISO9001、ISO14001、ISO22301\*、ISO/IEC20000\*、ISO/IEC27001\*、ISO/IEC27017\*、プライバシーマーク、建設業許可、電気工事業届出(一般用電気工作物)、電気工事業届出(自家用電気工作物)、第一種貨物利用運送事業登録、倉庫業登録、電気通信事業届出、労働者派遣事業許可、高度管理医療機器等販売許可、古物営業許可、産業廃棄物広域認定、高圧ガス販売事業届出、包括登録に係る無線局の開設届出(陸上・日本周辺海域)

※認証の範囲につきましては、当社ホームページ (<https://www.hitachi-systems.com/>) をご覧ください

# 役員

※2026年4月1日現在

代表取締役 取締役社長	渡邊 岳彦	取締役(非常勤)	大江 伸登	常務執行役員	吉田 浩美	業務役員	井上 望
取締役 専務執行役員	麻蒔 昌史	取締役(非常勤)	西脇 康人	執行役員	青木 誠	業務役員	澤野 嘉仁
取締役 専務執行役員	羽山 誉敏	取締役(非常勤)	半澤 潤一	執行役員	赤津 雅晴	業務役員	下村 典弘
取締役 専務執行役員	松山 英樹	取締役(非常勤)	馬島 知恵	執行役員	清信 和宏	業務役員	荒井 正純
取締役 常務執行役員	大西 康之	取締役(非常勤)	山田 貴之	執行役員	小島 仁志	業務役員	本山 正裕
取締役 常務執行役員	長谷 正嗣	取締役(非常勤)	渡部 二郎	執行役員	澤島 伸一	業務役員	藤井 秀也
取締役 常務執行役員	服部 善成	監査役	田宮 直彦	執行役員	高村 慎一郎	業務役員	吉田 貴宏
取締役 常務執行役員	藤澤 健	監査役	田村 進	執行役員	田中 啓喜	業務役員	穴山 泉
取締役 常務執行役員	松原 康範	監査役(非常勤)	西 正	執行役員	安永 加寿代	業務役員	田代 卓
			森山 英一	執行役員	山口 潔	業務役員	水谷 洋之
				執行役員	山脇 信彦		

# 沿革

- 1962年** ●日立電子サービス株式会社設立
- 2011年** ●株式会社日立情報システムズと合併、株式会社日立システムズに社名を変更
- 2012年** ●米国のソフトウェア会社 Cumulus Systems Inc.をグループ会社化
- 2013年** ●マレーシアのITソリューションプロバイダーとITサービスの合併会社 Hitachi Sunway Information Systems Sdn. Bhd. を設立
- 2014年** ●株式会社日立システムズパワーサービスを設立  
●インドのHitachi Systems Micro Clinic Pvt. Ltd. をグループ会社化  
●株式会社日立システムズネットワークスをグループ会社化  
●マレーシアのHitachi Sunway Data Centre Services Sdn. Bhd. をグループ会社化  
●株式会社セキュアブレインをグループ会社化
- 2015年** ●カナダのAbove Security Inc.をグループ会社化
- 2017年** ●株式会社日立システムズファシリティサービスの全事業を日立システムズ・テクノサービス株式会社に譲渡し、日立システムズ・テクノサービス株式会社の社名を株式会社日立システムズフィールドサービスに変更  
●Above Security Inc.の社名をHitachi Systems Security Inc.に変更
- 2021年** ●株式会社日立システムズフィールドサービス(存続会社)と株式会社日立システムズネットワークスが合併
- 2022年** ●Hitachi Systems Micro Clinic Pvt. Ltd. の社名をHitachi Systems India Pvt. Ltd.に変更  
●Cumulus Systems Inc.が社名をHitachi Systems Trusted Cyber Management Inc.に変更し、カナダのHitachi Systems Security Inc.を子会社化
- 2024年** ●株式会社四国日立システムズと合併  
株式会社四国日立システムズの保守・工事に関する事業を株式会社日立システムズフィールドサービスに事業移管  
●株式会社セキュアブレインと合併
- 2025年** ●株式会社日立製作所および株式会社日立インフォメーションエンジニアリングのデータセンターサービス事業を統合  
株式会社日立インフォメーションエンジニアリングと合併

# 1ページで分かる日立システムズグループ

**本社所在地**

東京都品川区  
大崎 1-2-1

**事業内容**

システム構築事業  
システム運用・監視・保守事業  
ネットワークサービス事業  
情報関連機器・ソフトウェアの販売と開発

**株主**

株式会社日立製作所  
100%

**設立**

1962年  
10月1日

**資本金**

19,162 百万円

**従業員数**

10,520 名  
(2025年4月1日現在、単独)

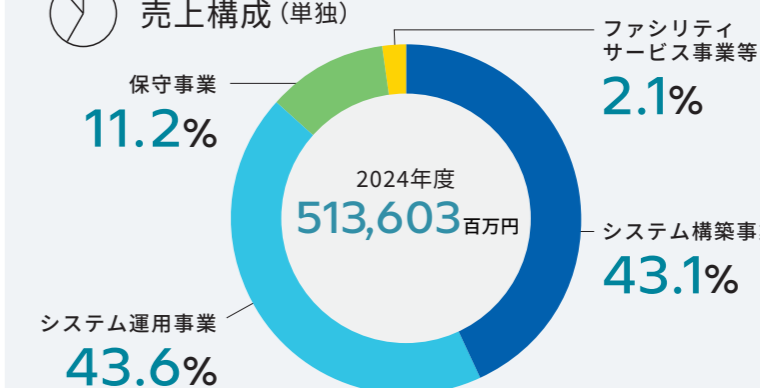
20,179 名  
(2025年4月1日現在、連結)

**売上高**

513,603 百万円  
(2024年度、単独)

627,421 百万円  
(2024年度、連結)

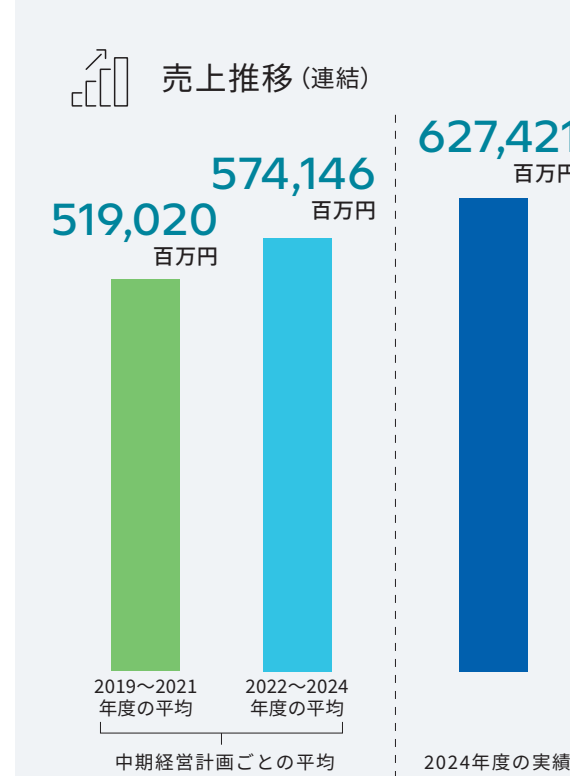
**売上構成(単独)**



2024年度  
513,603 百万円

- システム構築事業 43.1%
- システム運用事業 43.6%
- 保守事業 11.2%
- ファシリティサービス事業等 2.1%

**売上推移(連結)**



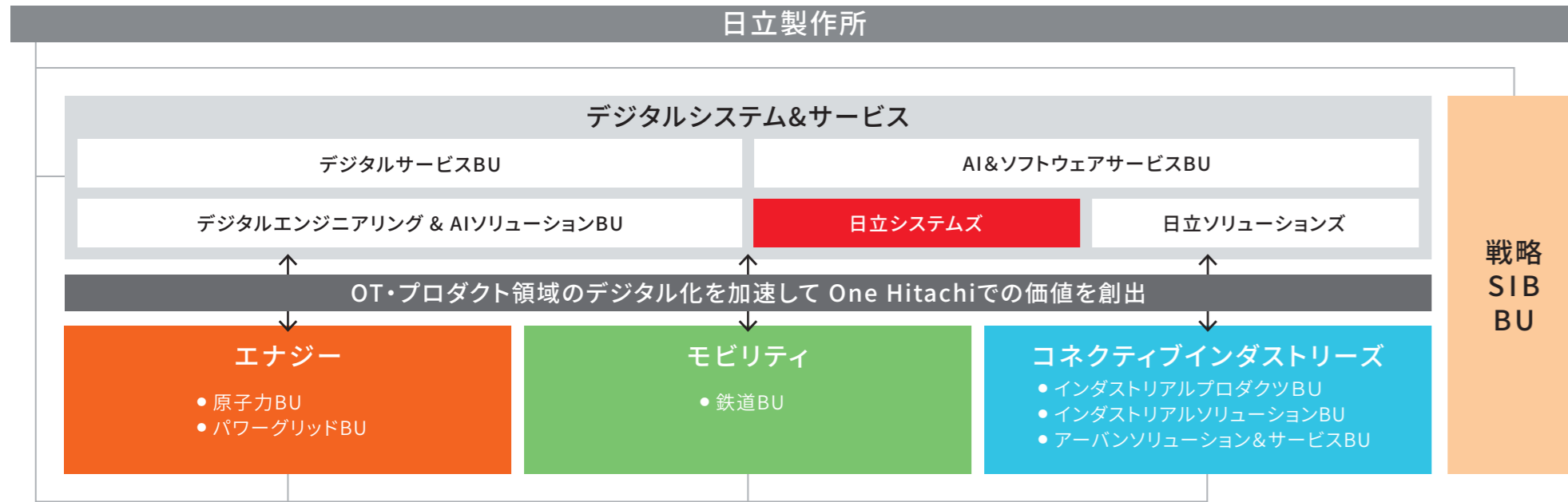
2019~2021年度の平均: 519,020 百万円  
 2022~2024年度の平均: 574,146 百万円  
 2024年度の実績: 627,421 百万円

中期経営計画ごとの平均

※決算期は3月 ※連結売上高は、IFRS基準の数値(本数値は、公認会計士の監査を受けておりません。) ※売上高については、毎年6月に更新

# 日立グループでの位置付け

BU:Business Unit  
※2026年4月1日現在



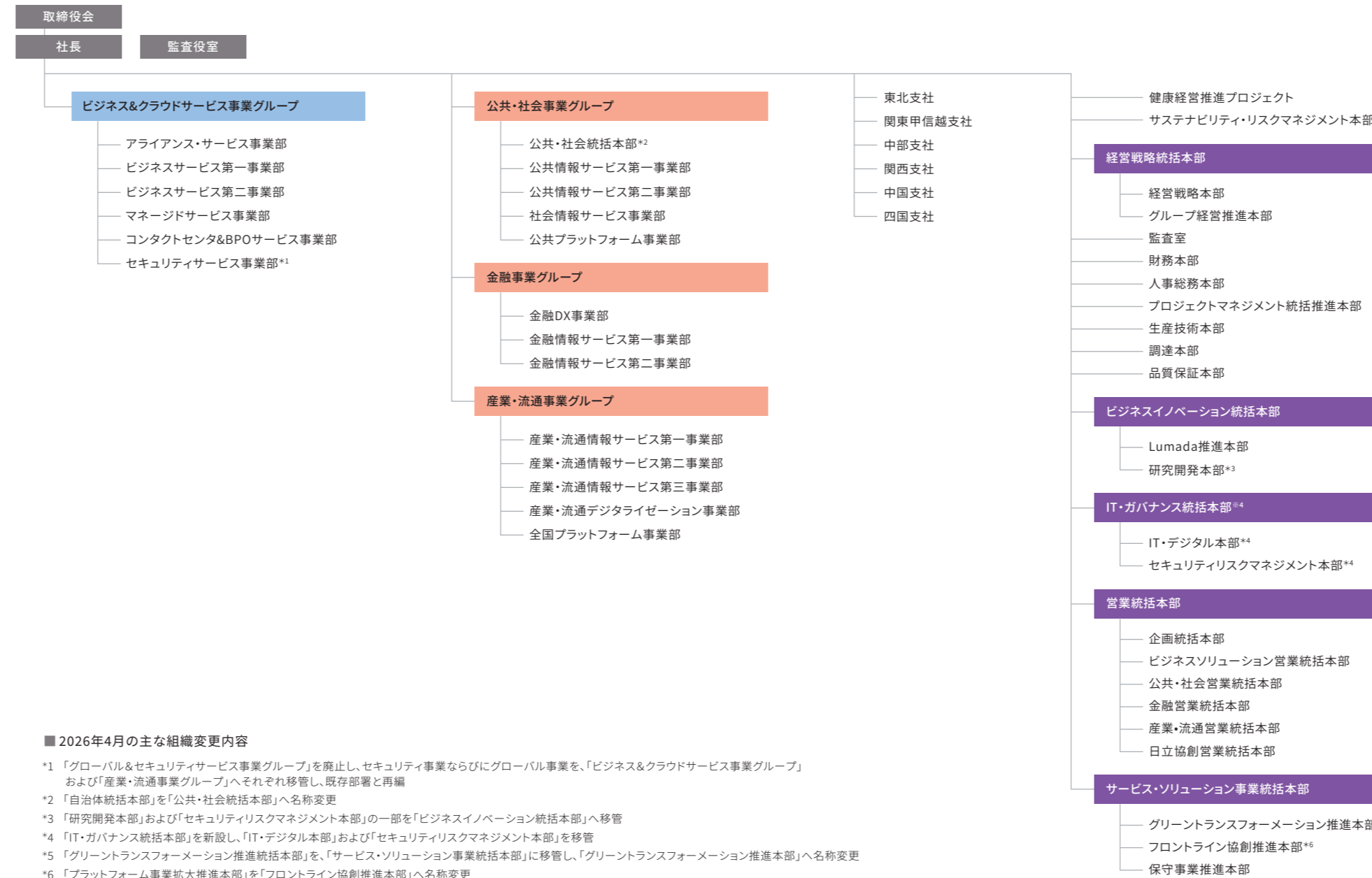
# 拠点・グループ会社一覧

※2026年4月1日現在

🏠 主な国内拠点	📄 国内グループ会社	🌐 海外グループ会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本社 (東京都品川区)</li> <li>● 東北支社 (宮城県仙台市)</li> <li>● 関東甲信越支社 (東京都台東区)</li> <li>● 中部支社 (愛知県名古屋市)</li> <li>● 関西支社 (大阪府大阪市)</li> <li>● 中国支社 (広島県広島市)</li> <li>● 四国支社 (香川県高松市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社北海道日立システムズ</li> <li>● 株式会社九州日立システムズ</li> <li>● 株式会社日立システムズエンジニアリングサービス</li> <li>● 株式会社日立システムズフィールドサービス</li> <li>● 株式会社日立システムズパワーサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hitachi Systems Trusted Cyber Management Inc. (アメリカ)</li> <li>● Cumulus Systems Private Ltd. (インド)</li> <li>● Hitachi Systems Security Inc. (カナダ)</li> <li>● Hitachi Systems Security Europe SA (スイス)</li> <li>● Hitachi Sunway Information Systems Sdn. Bhd. (マレーシア)</li> <li>● Hitachi Sunway Information Systems (Singapore), Pte. Ltd. (シンガポール)</li> <li>● Hitachi Sunway Information Systems (Thailand), Ltd. (タイ)</li> <li>● PT. Hitachi Sunway Information Systems Indonesia (インドネシア)</li> <li>● Hitachi Sunway Data Centre Services Sdn. Bhd. (マレーシア)</li> <li>● Hitachi Systems India Pvt. Ltd. (インド)</li> <li>● Hitachi Systems Network Technologies, Pte. Ltd. (シンガポール)</li> </ul>

# 組織図

※2026年4月1日現在



# サステナビリティ戦略「PLEDGES」

日立は、サステナブル経営の深化に向け、グループサステナビリティ戦略「PLEDGES」を策定しました。持続可能な社会の実現と事業成長の両立をめざし、7つの戦略の柱で構成されています。当社は、このフレームワークに則った、当社独自のマテリアリティ目標およびKPIを策定し、多様なステークホルダーとの対話と協働を通じて、事業を通じた社会課題の解決と環境・社会価値の創出に取り組み、持続的な企業成長と真に豊かな社会の実現に貢献することをめざします。

戦略の柱	めざす姿	FY2027 KPI/目標	数値
<b>Planet</b>	脱炭素の実現に向け、GXをグローバルでリード	事業所(データセンター、オフィス)のCO2排出量削減率(2019年度比)	<b>75%</b>
<b>Leadership</b>	社会課題を自分事として捉え、時代を切り拓く人財が変革をけん引	従業員成長マインドセットスコア*1	<b>70</b> ポイント
<b>Empowerment</b>	学びを称賛し、挑戦と成長を促す組織風土の醸成	従業員エンゲージメントスコア*2	<b>70</b> ポイント
<b>Diverse perspectives</b>	多様な人財が能力を最大限発揮し、イノベーションを創出	Hitachi Insights「従業員として尊重されていると感じる」スコア*3	<b>80</b> ポイント以上
<b>Governance</b>	安全と倫理を最優先とし、レジリエントな組織基盤を構築	総災害発生率 (Total recordable injury frequency rate)	<b>0.05</b> 以下
<b>Engagement</b>	ステークホルダーとともに、サステナブルなバリューチェーンを構築	日立とともに環境や人権に取り組む調達パートナー数 (2024年度対比)(日立グループ目標)	<b>1.5</b> 倍(6,000社+)
<b>Sustainability for all</b>	PLEDGEにより、社会への価値提供と日立の持続的成長を加速	デジタル・ライフサイエンス事業サービス利用者数 日立自治体ソリューション「ADWORLD」利用自治体割合 (利用人口/総人口) 森林調査DX事業による貢献森林数	<b>27.3</b> 万人 <b>59.6%</b> <b>100</b> 件(5,000ha)

\*1 従業員成長マインドセットスコア:全世界の日立グループ社員を対象とした意識調査「Hitachi Insights(日立インサイト)」における「個人による自身の成長に向けたアクション」「個人の成長マインドを支える主要な組織文化(心理的安全・コーチング&フィードバック・許容されたリスクテイク・アジリティ・失敗からの学習・インクルージョン)」に関する設問から測定した肯定的回答率

\*2 従業員エンゲージメントスコア:全世界の日立グループ社員を対象とした意識調査「Hitachi Insights(日立インサイト)」における従業員エンゲージメントの設問に対する肯定的回答率(「自社で働くことへの誇り」「働き甲斐のある職場であるか」「仕事へのやりがい・達成感」「当面自社で勤務する動機意欲」の4点から測定)

\*3 全世界の日立グループ社員を対象とした意識調査「Hitachi Insights(日立インサイト)」における肯定的回答率